☆ディーラーステッカー↓

#3895 スマート・ストップ2-4セル用 (Li-Po バッテリー・カットオフ・回路)

日本語取扱説明書

この度は、ノバック社リポスマート・ストップをお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。
この日本語説明書と英文マニュアルをよくお読み頂いた上でお使いください。

スマート・ストップは、設定電圧が2セル…6. 25V、3セル…9. 375V、4セル…12. 5Vとなっており、使用バッテリー電圧がそれぞれの値に低下した時にLEDで警告したのち送電を停止します。設定電圧で送電を停止する事でバッテリーの過放電を防ぎます。
このファンクションは、Li-Po バッテリーを正しく使う上で大変重要です。
これらの電圧以下に一度でも低下させるとLi−Poバッテリーは致命的なダメージを受け、寿命が大きく減少します。

◎1.スマートストップの搭載位置の確認

この段階では取り付けませんが、最適な取り付け位置を以下の方法で確認してください。
アンプとレシーバーの位置に近く、20GAの赤黒シリコンワイヤーがアンプのパワーワイヤー(バッテリーと接続するワイヤー)に接続しやすい位置に搭載する必要があります。
※20GAの赤黒シリコンワイヤーの接続する位置は、アンプからバッテリーとの接続コネクター間であれば、どこでも可能です。
LEDライトをボディ上に出す事を出来る事も考えた位置にする必要があります。
(LEDライトはRCの走行中にバッテリー電圧が低くなってきたら、点滅し電圧低下を知らせる1つの指標となります。)

◎2.パワーワイヤーの接続

スマート・ストップから出ている20GAワイヤーをお好みの長さに整え、それぞれ赤コードをバッテリーのプラス、黒コードをバッテリーのマイナスにハンダ付けし絶縁処理をします。
※ワイヤーをハンダ付けする際、ショートした状態にならない様に気を付けてください。
ショートした状態にするとアンプやバッテリー、スマートストップが壊れます。

◎3.レシーバーワイヤーの接続

まず、アンプをスマート・ストップに接続する前に、アンプの初期設定を行ってください。
初期設定が済んだら、アンプのレシーバーワイヤーを受信機から取り外し、スマート・ストップの基盤上の3本の金色の端子に接続します。
レシーバーワイヤーは一般的に白、赤、黒の三色なので、取り付ける場合は、外側から白色(シグナル)、赤色(プラス)、黒色(マイナス)の順なるように、差し込んでください。
(スマートストップから出ている3本のレシーバーワイヤーと同じ極性位置に合わせます。)
次に、スマート・ストップから延びるレシーバーワイヤー(白、赤、黒)を受信器のスロットルチャンネルに取り付けてください。
※とても古いタイプのアンプの場合、レシーバーワイヤーの極性位置(白、赤、黒)がスマートストップの配線の極性位置と違う場合があります。極性位置が違う場合は、レシーバーワイヤーのハウジングからコネクターを抜き差しし、極性位置をスマートストップの物に合わせてください。極性が違う状態で接続してしまうと、アンプやバッテリー、スマートストップが壊れます。

◎4.スマートストップの搭載

付属の両面テープとストラップを使い、最初に決めた搭載位置にスマートストップを取り付けます。

◎5.スマート・ストップのLEDの固定

走行中に見やすい場所に装着してください。
ショックタワー、ウイングマウント、ボディ(穴をあけて下からLEDの頭を外側に出す)等の見やすい場所を選択します。

◎6.スマート・ストップのセットアップ

スマートストップモージュールは、送信機の電源が入った状態でESCの電源を入れると、毎回ニュートラルポジションを自動認識しセットアップが完了します。
また接続されたLiPoバッテリーの電圧を自動認識して、2セル、3セル、4セルに合わせた最適のカットオフVを選択します。
※ESCの電源を入れた後は、送信機のニュートラルポジションの調整はおこなわないでください。
※もしESCの電源を入れた後に、スロットルトリムのニュートラルポジションを調整する必要がある場合は、調整をした後にESCの電源を一度OFFにし、再度ONにする事でスマートストップにニュートラルポジションを自動認識させてください。

◎7.スマート・ストップの動作

スマートストップが正しく搭載・接続・セットアップが完了したら、走行させる事が出来ます。
走行中に使用バッテリー電圧がカットオフ電圧値近くまで低下してきたら、スマートストップは断続的に電流を遮断し走行時間の終わりが近い事を知らせます。
※同時にブルーLEDが点滅し始め走行時間の終わりが近い事を警告します。
そのまま走行し続けて、カットオフ電圧値まで電圧が降下したら、アンプのスロットルシグナルを遮断し、車を停止させます。
※この時、車両のステアリング動作は出来るので、車のコントロールは失いません。
※ボルテージカットオフ回路がスロットル操作を停止させたら、バッテリーを再充電してください。カットオフ回路が働き車が停止すると、一瞬の停止期間にバッテリー電圧は再びモーターを動かす事が出来るくらいのレベルまで復帰します。この時、車が動くからといって車を走らせないでください。(カットオフ回路による停止を確認したら、その時点でバッテリーを充電してください。)あまりに何回もカットオフ電圧に達すると、バッテリーは故障します。

◎8.トラブルシューティング

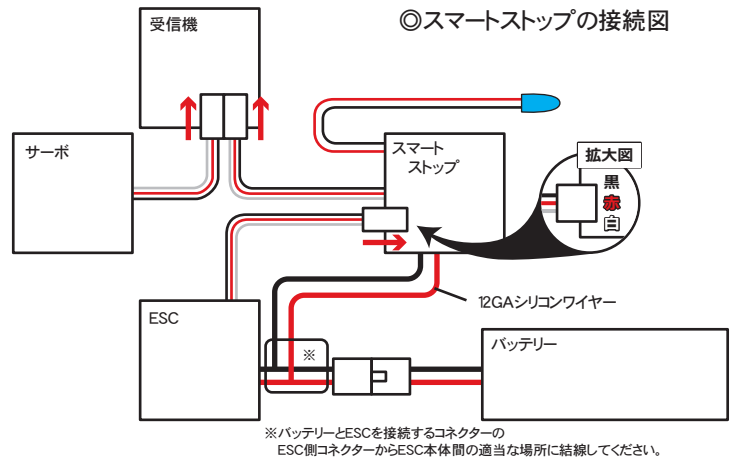
スマートストップがスロットルをカットしない場合…
ESCの電源を入れた時に送信機のニュートラルポジションがニュートラル位置に合っていなかった可能性があります。
送信機のニュートラル位置を正しく設定した後にアンプの電源を再度入れ直してください。

製品保証

製品の欠陥が材質または製造における仕上がりからくるものであり、購入から3か月以内であること(購入日のわかるレシートなどが必要です)。
間違った設置・接続、部品の使用劣化、内部機器の温度や過度の衝撃が加わったことによる回路基板の故障、水分や湿気にさらしたことによる故障、回路のショート、いかなる衝撃・浸水・天災による故障、は保証の範囲外です。
全ての製品は出荷される前に工場内で十分に品質検査されたものです。
それゆえ、正常に作動すると考えられます。
本品を接続し使用することは、ユーザーは使用から生ずる全ての損害に対しての賠償責任を負うことを承認したことになります。
どのような場合にも、その製品の原価を超える賠償責任を負いません。
Novak Electronics, Inc.、株式会社イーグル模型は、本品と、その他関連電子機器の使用を管理できないため、本品を使用して生じた、いかなる対人対物事故とそれに伴う損害、損失に対し一切の賠償責任を負いません。
ノバック社、株式会社イーグル模型は予告なしに保証規定を修正する権利を有します。

アフターサービス

☆製品保証につきましては、一部アメリカ国内保証と異なりますが、ほぼノバック保証に準じて処理させていただきます。
保証依頼の場合はディーラーステッカーと購入時のレシート又は、イーグル製品特約店様での購入日の分かる購入の控えが必ず必要になります。
大切に保管して下さい。ディーラーステッカーは購入後必ずアンプの側面にはっておいてください。(これらが無い物は保証の対象外となります。)
☆社外品との使用やコード交換等の製品にダメージを与える恐れのある改造がある場合は、保証対象外となります。
☆本品や本説明書は事前の予告無く仕様を変更する事があります。ご了承ください。
☆各種プロテクション機能はあくまで許容範囲内のトラブルに対応するものです。
バッテリーに対する過放電による故障を確実に防ぐ事を保証するものではありません。

※バッテリーとESCを接続するコネクターの
ESC側コネクターからESC本体間の適当な場所に結線してください。

17032 Armstrong Avenue
Irvine,Ca 92614
Phone:948-833-8873
www.teamnovak.com

EAGLE RACING

☆その他、ご質問等がございましたら
お気軽にお問い合わせください。
イーグル・サービスカウンター
E-mail : service11@eaglemodel.com

輸入販売元:
株式会社イーグル模型
〒440-0842　愛知県豊橋市岩屋町62-79
TEL : 0532-61-1554